

Rotary  
第2770地区



# Governor's

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2770

# Monthly Letter



5月 青少年奉仕月間

**UNITE  
FOR  
GOOD**

よいことのために手を取りあおう

Vol.11

05

month  
2026

# UNITE FOR GOOD

よいことの  
ために  
手を取りあおう



## ガバナーご挨拶

2025-2026年度  
第2770地区 ガバナー  
熊木 雄太郎 (戸田)

5月は青少年奉仕月間です。未来を担う青少年の育成は、ロータリーの重要な使命の一つであり、各クラブにおかれましても、地域に根ざした青少年事業に積極的に取り組んでいただいておりますことに、心より敬意を表します。

さて、地区内12グループすべてにおいてインターシティ・ミーティング(IM)が無事終了いたしました。それぞれのグループにおいて創意工夫が凝らされ、クラブ間の交流と学びが深まったことは、大変意義深いものでありました。ご尽力いただいた皆様に感謝申し上げます。

先月よりクラブ周年行事がはじまり、節目の年を迎えることは、クラブの歴史と伝統を振り返るとともに、次なる飛躍への大きな契機となります。ぜひ会員の皆様が一丸となり、意義ある周年事業を築いていただきたいと存じます。

また、地区三大セミナーもすべて終了し、地区、クラブ共、次年度に向けた準備も着実に進んでおります。次期リーダーの皆様におかれましては、学びを実践へとつなげ、より良いクラブ運営に活かしていただくことを期待しております。

さらに、6月14日より台湾・台北にて国際大会が開催されます。世界中のロータリアンと交流を深める貴重な機会であり、第1地域の国際大会推進チームの一員として岡村睦美直前ガバナーも尽力されております。ぜひ多くの皆様にご参加いただきたく、地区ナイトへのご出席も含め、あらためてお願い申し上げます。

本年度も残すところあとわずかとなりました。各クラブ会長におかれましては、6月末までの会員維持に一層ご尽力いただき、最後まで力強いクラブ運営をお願い申し上げます。会員一人ひとりが充実したロータリー活動を実感できるよう、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## TOPICS

## 第3グループインターシティミーティング開催

2026年2月27日



令和8年2月27日(金)パレスホテル大宮にてインターシティミーティングを盛大に開催しました。今年度RI会長メッセージと地区活動方針としてUNITE FOR GOOD「よいことのために手をとりあおう」手を取りあう為には、交流と出会いが大切です。私達第3グループは一年間の活動として The group 3 is unit team.「第3グループは団結したチームです」をスローガンにあげ、ワンチームで活動し、IMも手を取合い準備し作り上げました。

親愛なる第3グループ実行委員会&ホストクラブの皆様

第1部式典セレモニーではご来賓を代表して熊木雄太郎ガバナーから、そしてさいたま市長 清水勇人様よりご祝辞を賜りました。そして第3グループロータリアンの皆様からのご協賛によりロータリー財団ポリオ根絶・米山記念奨学事業・腎アイバンク協会様にそれぞれご寄付することができました。「感謝」

さらに各クラブの会長・幹事から今年度活動報告発表があり皆様から熱い声援が飛び交い、心が温まりました。



ご来賓・ご招待

さいたま清水市長・熊木DG・中里DPG・同期ガバナーAG・

地区役員第3グループロータリアン

第2部の講演会では、大宮盆栽村開村100周年を祝い、盆栽界の鬼才「小林國雄」氏に1000年を超える真柏（一億円以上）の価値ある盆栽を展示され「演題・人も盆栽も枯れるから面白いんだ」をご講演いただきました。国際ロータリーと大宮盆栽村開村100周年からつぎの100年に繋がるヒントになれたのではないのでしょうか。

盆栽界の鬼才「小林 國雄氏」

ご講演「演題・人も盆栽も枯れるから面白いんだ」



熊木雄太郎ガバナー

第3部では新春懇親会の開演となり、和調津軽三味線とお琴の奏でる音色で景気よく交流と親睦と出会いを広め、出席者全員が楽しい時間を共に過ごしました。ロータリーは、「とても広く、深く、楽しさもあり、何より生きがいを見つけることができる」活動で、共にロータリー活動を楽しみましょう。そして久しぶりに「手に手つないで」の大合唱。

結びに、IM開催にあたり伊藤実行委員長・井上久雄副実行委員長・実行委員会の皆様・小川松雄ガバナー補佐幹事に心より感謝申し上げIMのご報告とさせていただきます。

第3グループガバナー補佐 中村 芳彦(さいたま欖RC)

## TOPICS

## 第4グループインターシティミーティング開催

2026年4月17日



2026年4月17日(金)第4グループ・インターシティミーティングを例年とは趣向を変え、東京湾を望む、シンフォニークルーズにおいて開催いたしました。

当日は遠方にもかかわらず、熊木雄太郎ガバナーを始め、地区ラーニングファシリテーター中里公造パストガバナー、各グループガバナー補佐の皆様、福永高土地区幹事、グループ内多くのロータリアンにご参加いただき盛大に開催することが出来ました。

クラブの垣根を越えた交流を通じて、新たな友情が生まれ、互いの活動を知り、刺激を受け、今後の各クラブの活性化につながっていく場になったことと思います。



また、インターシティミーティングに先立ち、3月28日(土)に、こちらも例年と趣向を変え、IM記念チャリティボーリング大会を開催し、多くのロータリアン、ロータリーファミリーにご参加いただき、ロータリーの絆を深めました。

IM・IM記念チャリティーにご参加、ご協力を頂きました皆様にご心より感謝申し上げます。

第4グループガバナー補佐 真中 潤治(大宮北東RC)

## TOPICS

## 第9グループインターシティミーティング開催 【第9グループみんなで！よいことのために手を取りあおう】

2026年3月25日

令和8年3月25日(水)国際ロータリー第2770地区第9グループインターシティミーティングを八潮市民文化会館に於いて開催致しました。

当日は、熊木ガバナーをはじめ、八潮市長 大山忍 様、草加市長 山川百合子様、中里パストガバナー、福永地区幹事、同期のガバナー補佐の皆様、そして、多くの第9グループロータリアン、事務局員、米山記念奨学生、次年度青少年交換派遣候補生親子にご参加を頂きました。(登録者数 87名)



今回のIMは、プログラム三部構成で執り行われました。



米山記念奨学生・学友  
モンドル・プリティラニイさん、スベディ・サファルさん

### (第1部) 式典

- ・ご来賓の方々からご挨拶を頂き、八潮市・草加市両社会福祉協議会へ寄付金贈呈を致しました。
- ・全クラブ会長より、大型スクリーンを使って現況・活動状況を報告頂きました。
- ・次年度ガバナー補佐を皆様にご紹介致しました。

### (第2部) 基調講演 二宮金次郎 昆孫 中桐万里子様

・600以上の被災地の再建復興に携わった二宮金次郎の行動哲学とロータリアンが日々心掛けている事が重なり合っていると感じました。

勤労・至誠・分度・恩返し(お裾分け)

中桐万里子様(二宮金次郎 昆孫 七代目)

演題

「豊かな人づくり～二宮金次郎を手がかりに～」



### (第3部) 大懇親会

- ・各クラブ代表者が、フリートークでクラブの歴史・現況・悩み事・将来への希望等をお話し頂きました。
  - ・次年度ガバナー補佐(小越氏)より、次年度各クラブの会長・幹事のご紹介を頂きました。
  - ・次年度青少年交換派遣候補生親子(森本君)を皆様にご紹介致しました。
- ※第9グループ全クラブで支援していく協働事業です。

次年度会長幹事のご紹介

IM開催にあたり、ご尽力を頂きました第9グループIM実行委員会・ホストクラブ(八潮RC)関係各位に心より感謝申し上げます。

第9グループガバナー補佐 高橋 裕(八潮RC)

## TOPICS

## 会員増強維持部門主催イベント開催のお知らせ

2025-2026会員増強維持部門では、会員同士のつながりをより深め、活動の魅力を実感していただくことを目的として、イベントを開催します。

このイベントは、「学び」「交流」「楽しさ」を一体として体験できる内容となっており、新入会員・若手会員の皆様はもちろん、各クラブで会員増強・維持に関わるみなさまにとっても、有益な機会となります。

イベントには、プロサッカー選手として大宮アルディージャで活躍した、塚本泰史氏を特別講師としてお招きし、ご自身の経験に基づく講演を予定しています。プロサッカー選手としての競技人生における挑戦、そこから得た視点は、日常の活動や組織運営にも参考になる内容です。

また、お笑いライブとして、お笑い芸人やセ騎士さんによるトークステージも予定して、会場全体で楽しめる構成としています。参加者同士が自然に交流できる環境を整え、ロータリーの魅力である「人とのつながり」を実感していただく機会とします。

抽選会も実施しますので、奮ってご参加下さい。

日時:2026年5月29日(金)

18時~21時まで

会場:戸田市文化会館

参加費:7,000円

(料理・飲み放題込み)

実際に「参加してよかった」と活動の楽しさを感じていただける時間を提供することを重視した企画です。会員同士の関係性を強化し、今後の活動の質を高める契機としていただければと思います。



参加をご希望の方は、QRコードからお申し込み下さい。



## 第1地域 ロータリー会員増強コーディネーター補佐 花田 勝彦（五所川原 RC）

私は第1地域行動計画推進リーダー（APC）として、各地区、クラブまでロータリーの「行動計画（Action Plan）」を浸透させるべく携わってまいりました。本稿では、行動計画を各クラブ単位まで確実に浸透させるサポートをするための「クラブサポートミーティング」について触れてみたいと思います。

ここ数年で社会環境や会員の価値観は大きく変化しました。コロナ禍を経て、例会の形態、参加動機、奉仕のあり方が多様化しています。国際ロータリーが掲げる「より大きなインパクトをもたらす」は、単なる会員数の増加だけでは達成できません。継続性・適応力・包摂性を兼ね備えたクラブ運営が求められており、クラブサポートミーティングは各クラブの運営や課題を支援したり、具体的に相談したりする定期開催の会合です。



クラブサポートミーティングには、大きく分けて3つの目的があります。

### 1.現状把握と課題共有

会員数、維持率、出席率、プロジェクト数などの定量データと、参加意欲や満足度といった定性情報を可視化します。

### 2.戦略的支援の提供

単発の助言に留まらず、3年目標(3-Year Rolling Goals)など中長期の視点でクラブの成長計画を共に描き、年次レビューで柔軟に修正します。

### 3.成功事例の横展開とリソース連携

有効な施策を他クラブへ展開し、人的・物的リソースを最適に配分することで、地域全体のインパクトを高めます。これらを通じて、地区・地域組織は「数字だけを追う管理者」ではなく、クラブの伴走者として機能することが期待されます。

次に、ミーティングで扱うべき具体テーマと進め方についてまとめてみましょう。

#### ・ベースラインデータの確認

会員数、維持率、出席率、プロジェクト数、参加者属性を共有し、クラブごとの現状を共通認識にします。

#### ・3年ローリング目標の策定支援

会長、会長エレクト、会長ノミニニーを交え、定量的な3年目標と年次KPIを設定します。

#### ・パイロット施策の設計と評価

小規模で試行し、データと参加者フィードバックで改善するサイクルを回します。

#### ・若手・多様層の参加促進

衛星クラブやローターアクトとの連携、柔軟な例会形態の導入など、包摂性を高める具体策を検討します。

#### ・広報と可視化

成功事例を地域内外に発信し、参加機会を増やすための広報支援を行います。

運営のポイントとしては、事前に簡潔なデータシートを配布し、ミーティングは「診断→提案→合意→実行計画」の流れで進めることです。年次レビューの結果は次年度計画に必ず反映させることが重要です。

既存クラブの文化や価値観を短期間で変えることは容易ではありません。そこで、衛星クラブやローターアクトクラブの創設は、包摂性を実現する有力な手段です。若年層や多様な背景を持つメンバーを受け入れ、彼らの力で地域課題に取り組んでもらうことで、ロータリー全体のブランドと地域インパクトを高められます。既存クラブは支援と連携を通じて新たな価値を共創できます。

今年度から定期開催されているガバナー主催のクラブサポートミーティングは、単なる報告会ではなく戦略的支援の場として活用してください。ガバナーや地域リーダーには次の役割を期待します。

#### ・戦略提案者：クラブごとの3年目標設計を支援する。

#### ・調整者：地域内のリソースや成功事例を結びつける。

#### ・伴走者：実行段階での課題解決を共に行う。

数字は重要ですが、数字を生むための「仕組みづくり」と「人の巻き込み」がより重要です。ガバナーや地域リーダーの戦略的な関与が、クラブの自律的な成長を促します。

クラブサポートミーティングは、地域とクラブが互いに学び合い、実行力を高めるための貴重な機会です。まずはベースラインの整理と3年目標（3-Year Rolling Goals）の共有をお願いします。必要であれば私が説明会に伺い、実務的な支援を行います。皆さまのご協力と積極的な参加を心よりお願い申し上げます。

アクセスには My ROTARY へのログインが必要です。



## 第2 地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 古川 静男（松本西南 RC）

ロータリー財団では、日本から海外へ留学する学生のためにグローバル補助金を利用した奨学金制度を準備しています。このグローバル補助金による奨学金を利用できるのは、ロータリーの7つの重点分野のいずれかに該当する分野を専攻することが条件となっており、①平和構築と紛争予防、②疾病予防と治療、③水と衛生、④母子の健康、⑤基本的教育と識字率向上、⑥地域社会の経済発展、⑦環境のいずれかに該当する必要があります。

グローバル補助金による奨学生の数は、2010年から2023年の13年間で合計421名（年平均32名）となっています。コロナ禍で一時減少しましたが、直近5年間では、

令和6年度50名、令和5年度49名、令和4年度39名、令和3年度37名、令和2年度82名となっていました。グローバル補助金による奨学金制度は、2013年に「未来の夢計画」としてロータリー財団の補助金制度が大幅に変更されて誕生したのですが、それ以前は「国際親善奨学金制度」というものがあり、7つの重点分野に限定されずに、音楽、芸術、文学、建築、エンジニア、自然科学、宇宙工学、経済、法学、心理学、IT等、様々な分野の学生が対象となっていました。この「国際親善奨学金制度」は1947年からスタートしましたが、2013年までの65年間で延べ8,299名（年平均128名）の留学生がこの奨学金を利用していました。国際親善奨学金制度がなくなり、新たに「グローバル補助金」と「地区補助金」が誕生しましたが、「グローバル補助金」は7つの重点分野により限定されたことや、「地区補助金」は各クラブでの利用が進んだため、奨学金に回る金額が少なくなり、日本からの海外留学生は以前に比べて大幅に減少しました。



この状況を憂慮した日本ロータリー学友会（元留学生で組織する地区学友会の連合体）は、2024年11月に開催された総会において、財団奨学生を増やしてほしいという「提言」を発表しました。この「提言」では、「日本や世界の未来を担う意欲ある日本の若者に、グローバル補助金の7つの重点分野に限らず、地区補助金を利用して、他のあらゆる分野を学ぶ学生に奨学金を与えて欲しい」というもので、地区補助金を利用した奨学生支援を訴えていました。

日本ロータリー学友会が2024年と2025年に34地区に実施したアンケート調査によりますと、2013年から2023年までの11年間に、地区補助金を利用して海外へ留学生を送り出した地区は34地区中16地区（1地区未回答）あり、総数は194名（年平均18名）に留まっていました。約半分の地区が、地区補助金を利用した奨学金制度を利用していないことが判明しました。アンケートでは、利用していない理由として、「募集可能を知らなかった」「検討したことがない」「重点分野が要件と思っていた」という回答と共に、「地区補助金をクラブ補助金等、他の目的で使用しているため奨学金として回せる金額がない」という回答が多くみられました。

昨今の日本人留学生の実情をみますと、円安が進み、渡航費や滞在費など経済的負担が大きくなってきています。また、海外では留学生の授業料が高く設定されていて、アメリカ約1.5倍、カナダ約2倍、フランスなどは約15倍にもなっており、留学環境は年々厳しさを増している実情があります。資金調達でも「自費・仕送り」が大半を占めており、奨学金の利用が極めて少ないということで、経済的に余裕のある家庭の子供しか留学出来ないという状況が見受けられるようです。日本の学生により国際感覚を磨いてもらい、世界で活躍するリーダーとなってもらうためにも留学は貴重な体験であり、ロータリーの力で様々な分野の国際人を養成していくことはより重要性を増しているのではないかと思います。当地区では、現在地区補助金を利用して留学生を送り出していないのですが、より多くの学生がロータリー財団の奨学金を利用して留学できる方法を検討していくことも重要ではないかと考える次第です。



### 第3 地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 吉田 知弘（福岡東 RC）

この度、全国のロータリアンの皆様へ広くレターを差し上げる機会を賜り、大変ありがとうございました。私は、第3 地域ロータリアン財団地域コーディネーター補佐として、九州4 地区の担当を仰せつかっております。会員の皆様からの寄付増進を図り、ロータリー活動の礎を創ることを役割と認識し、微力ながらも貢献できればと願っております。そのような立場から、ロータリーの諸活動に関して思うところを少しでもお伝えしたいと思い、本稿を寄せます。



ロータリーの発展は、しばしば3つの要素(奉仕プロジェクト、公共イメージ、会員増強)のスパイラルによって支えられると説明されます。たしかに、①意義深く効果的な奉仕プロジェクトにより社会をよりよい状態へと導くことができれば、その実践を通じてロータリーが好意をもって社会に認知されます。②その好感度の高まりは、パートナーシップとエンゲージメントの機会を広げると同時に、メンバーの自尊心と積極的な参加意欲を高め、結束力の高まりを通じてクラブとロータリーを一層魅力的な存在へと向上させます。③このような成果の集積により、クラブ拡大と会員増強もよりよく達成されます。

この3つの要素が好循環のスパイラルを描き出す様子をイメージすると、ロータリー活動にも取り組む意欲も自ずと増すことでしょう。その一方で、意義あるロータリーの諸活動がロータリー財団への寄付によって支えられていることを忘れてはなりません。その意義をご理解いただき、是非とも寄付の増進にご理解とご協力を賜りたいと願っております。

さて、こうしたロータリーの重要な取組の一つである「ロータリー平和センター」をご紹介させていただきます。これは平和学に優れた大学の中に「ロータリー平和センター」を設け、世界からの留学生(ロータリー平和フェロー)を招き入れて、積極的な平和構築のエキスパート(Peace Builder)として養成し、そのスキルを高めて世界に送り出してゆく活動です。2002年にスタートし、現在では世界に8か所、うち1つが日本の国際基督教大学に設置されています。

現在、注目を集めるイランのホルムズ海峡の封鎖問題をはじめ、国際的な武力紛争が随所で頻発しており、国際情勢は極めて不安定で危機的な状況にあります。こうした国際情勢をみるにつけ、平和への取組の重要性を思わずにはいられません。平和構築の専門家を養成する平和センターの取組は、一層その重要性を増していると思われます。

国際基督教大学の平和センターのことは、これを支えるホストエリア(首都圏7地区)の外に出るとなかなか周知されない状況にあることは否めません。よくご存じの方もそうでない方も、本稿をご覧いただきましたら、是非ネットの検索エンジンで「ロータリー平和センター」を検索してみてください。その充実した取組の内容をご確認いただけることと思います。



## 1 台北国際大会 ブース出展決定 & 分科会開催時刻変更

6月13日から17日まで開催されるロータリー国際大会（台北国際大会）において、友愛の家でのブース出展が正式に決定しました。ブース番号は「106番」です。会場マップ等の詳細が公開されましたら、改めてお知らせいたします。

ご来場いただいた方には、数量限定で記念グッズを配布予定です。当事業と米山学友の活躍を広く発信する貴重な機会となります。ご来場をお待ちしています。

また、6月15日（月）に開催が決定している当財団の分科会の時刻が変更となりました。開催時刻は**11:00～12:00**です。ご注意ください。

6月12日（金）には、台湾米山学友会主催の歓迎懇親会が、上海郷村餐廳 承德本家にて18時30分から開催されます。登録期限は**4月30日（木）**まで。詳細はQRコードからご確認ください。

### 台湾米山学友会主催 歓迎懇親会

**6.12** ・2026年6月12日（金）18:30～  
・上海郷村レストラン 承德本家  
・参加費：NT\$1,600（¥8,000）/名



ご登録はこちら  
期限：4月30日まで

### 6.13 友愛の家 ブース出展

**6.13** 2026年6月13～17日 09:00～18:00 ※17日のみ-14:00  
**6.17** 台北南港展覽館(TaiNEX) **ブース番号 #106**  
※お立ち寄りいただいた方には記念品をお渡しします（数量限定）

### 国際大会 分科会

※時間が変更になりました

**6.15** 2026年6月15日（月）**11:00～12:00**

分科会タイトル 広がる基盤・つながる世界

～ロータリーとともに歩むロータリー学友の実践～

登壇者（米山学友）



林岳毅さん  
RID 3461 台北文中RC  
台湾米山学友会 常務理事  
(台湾/2000-01/札幌清田RC)



フィンティミーハンさん  
ベトナム南米山学友会 副会長  
(ベトナム/2001-02/金沢みなとRC)



朴貞子さん  
RID2750 東京米山友愛RC  
第3回米山学友による世界大会  
再会in関西 実行委員長  
(中国/2006-08/岸和田RC)



バヤンバット、  
トゥメンデルゲルさん  
RID3450 フレーRC  
モンゴル米山学友会 会長  
(モンゴル/2014-15/大阪東RC)

## 2 2026 学年度奨学生採用とオリエンテーション開催

2026 学年度の奨学生は 969 人となりました。新規採用者 682 人、継続者 287 人です（4月6日現在）。国・地域別では、中国 32.4%、ベトナム 13.9%、韓国 12.6%、ミャンマー 6.5%、インドネシア 5.0%、ネパール 3.8%、モンゴル 3.7%、マレーシア 3.5%、台湾 3.2%、スリランカ 2.4%の順となり、全 54 カ国の採用となりました。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学生が 914 人（学部 473 人、修士 282 人、博士 159 人）、地区奨励奨学生が 25 人、クラブ

支援奨学生が 12 人、海外応募者対象奨学生が 17 人、海外学友会推薦奨学生が 1 人となっています。4 月末までに新規採用者に対して各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。新たな奨学生たちを、どうぞ温かくお迎えください。

## 3 寄付金速報 — 今年度も残り 2 カ月半 —

前年同期比

**-1.8%**

普 +1.0% 特 -3.2%

3 月末までの寄付金は前年同期と比べて 1.8%減（普通寄付金：1.0%増、特別寄付金：3.2%減）、約 1,950 万円の減少となりました。

た。当月は、1,000 万円の寄付を含む大口寄付が 3 件あり、3 月単月の寄付額は 2000 年度以降初めて 7,000 万円を超えました。皆さまからのご支援に厚く御礼申し上げます。引き続き、当事業へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

## 4 当財団への寄付により紺綬褒章を受章

長年にわたり、当事業に多大なるご支援を寄せてくださっている第 2550 地区宇都宮 90RC の飯村 慎一氏が、2025 年 10 月 25 日付で紺綬褒章を受章しました。

3 月 23 日の同クラブ例会にて伝達式が行われ、出席した当財団の若林紀男理事長から紺綬

褒章に付する飾版が伝達されました。

紺綬褒章は、公益のために私財を寄付し、その功績が顕著な個人または団体に対して天皇陛下より授与される褒章で、当財団は 2018 年 9 月に紺綬褒章の公益団体認定を受けています。心よりお祝い申し上げます。

## 5 奨学期間を終え、新たなステージへ

卒業の時期を迎えた 3 月、全国各地で米山奨学生の奨学期間終了に伴う式典が開催され、多くの米山奨学生が新たなステージへと歩み始めました。今回は、国際ロータリー第 2510 地区の様子をご紹介します。

3 月 8 日、札幌市内で米山記念奨学生終了式が開催され、米山奨学生 17 人をはじめ、ロータリー会員 40 人と米山学友 2 人が出席しました。式は、当財団の嵯峨義輝理事の挨拶で始まり、奨学生には終了証書が、カウンセラーには感謝状がそれぞれ授与されました。その後の歓送会



では、奨学生とカウンセラーがこれまでの思い出や感謝の言葉をスピーチし、会場は心温まる雰囲気になりました。また、北海道大学に在籍する奨学生が、同大学史上初となる外国人留学生の首席卒業を果たし、卒業論文でも最優秀賞に輝いたことが報告されると、会場からは大きな拍手が送られました。札幌モーニング RC

に所属し、この日出席した米山学友の鄭子龍ジョンジャリオンさんは、「卒業した米山奨学生たちが、それぞれの道で国際社会に貢献してくれることを期待しています」と、後輩たちへエールを送りました。

## 6 マレーシア米山学友会 創立 10 周年記念総会開催

3 月 15 日、マレーシア・スレンバンにてマレーシア米山学友会の創立 10 周年記念総会が開催されました。当財団からは若林紀男理事長が出席したほか、日本からも多数のロータリー会員が集結。また、オンライン配信を通じて各地の米山学友も参加し、総勢 50 人が節目を祝いました。



式典は、会長の黄建榮ワンケンさん（1998-2000/室蘭東 RC）の挨拶で幕を開け、若林理事長が祝辞を述べた後、活動報告や会計報告が行われ、終始和やかな雰囲気の中で進行されました。

総会に先立ち、前日にはスレンバン博物館を訪問した後、現地の老人ホーム施設を見学。高齢化社会という課題に直面するマレーシアの民間施設を支援するため、同学友会から約 7 万円の寄付金が贈呈されました。夜には晩餐会が開催され、マレーシアの米山学友たちが伝統衣装「バティック」を、海外からの参加者もそれぞれの民族衣装を身にまとい、華やかな雰囲気の中で交流を深めました。

2016 年の学友会設立時に 39 人だった会員数は 10 年を経て 100 人を超える規模へと成長しており、マレーシア米山学友会のさらなる飛躍が期待されます。



民族衣装に身を包んで参加

2025-2026 年度 3 月 会員数報告

クラブ名	2025年 7月1日 現在		当月末 会員数		増減	目標 純増	通算 入会
		内 女性		内 女性			
浦和	101	4	102	3	1	5	7
浦和東	99	15	98	16	-1	3	3
浦和南	24	2	26	3	2	3	2
浦和中	33	5	30	4	-3	3	0
浦和ダイヤモンド	21	3	23	4	2	4	2
第1グループ計	278	29	279	30	1	18	14
浦和北	57	4	58	5	1	10	2
さいたま中央	41	2	41	1	0	10	2
さいたまシティ	21	1	23	3	2	5	2
浦和北東	42	3	42	3	0	5	0
さいたま新都心	33	0	33	1	0	5	1
第2グループ計	194	10	197	13	3	35	7
大宮	55	2	53	2	-2	5	4
大宮南	35	8	35	7	0	2	2
大宮中央	34	4	36	5	2	18	2
大宮シティ	39	4	40	4	1	8	2
さいたま樺	30	4	31	4	1	3	1
さいたま大空	13	5	15	7	2	2	2
第3グループ計	206	27	210	29	4	38	13
大宮西	113	17	116	18	3	8	7
岩槻	25	3	25	3	0	5	1
大宮東	37	2	38	2	1	5	1
岩槻東	21	3	20	3	-1	3	0
大宮北東	8	1	9	1	1	4	1
第4グループ計	204	26	208	27	4	25	10
上尾	33	0	33	0	0	3	0
鴻巣	21	4	18	4	-3	2	0
桶川	20	0	20	0	0	2	1
上尾西	31	3	32	3	1	3	3
北本	5	1	6	1	1	3	1
上尾北	20	0	25	0	5	3	5
鴻巣水曜	25	0	29	0	4	5	4
桶川イブニング	24	3	26	4	2	3	2
鴻巣イブニング	21	2	26	4	5	5	5
第5グループ計	200	13	215	16	15	29	21
春日部	26	2	26	2	0	2	1
杉戸	33	3	32	4	-1	3	1
春日部西	26	1	25	1	-1	3	1
春日部南	27	0	25	0	-2	3	1
春日部イブニング	41	2	41	2	0	4	1
第6グループ計	153	8	149	9	-4	15	5

クラブ名	2025年 7月1日 現在		当月末 会員数		増減	目標 純増	通算 入会
		内 女性		内 女性			
幸手	22	1	16	1	-6	3	0
蓮田	43	3	43	3	0	3	0
久喜	50	7	51	7	1	3	2
幸手中央	13	1	13	1	0	1	0
第7グループ計	128	12	123	12	-5	10	2
越谷	92	6	99	8	7	5	8
越谷南	37	4	41	6	4	6	7
越谷北	48	2	51	2	3	3	4
越谷東	74	5	77	4	3	5	5
第8グループ計	251	17	268	20	17	19	24
八潮	23	2	23	2	0	2	1
八潮イブニング	10	0	10	0	0	3	0
八潮みらい	17	1	17	1	0	2	1
草加松原	35	3	36	3	1	9	2
草加シティ	17	6	12	4	-5	5	0
第9グループ計	102	12	98	10	-4	21	4
三郷	30	4	29	5	-1	2	2
三郷中央	19	2	17	2	-2	3	0
松伏	18	2	19	2	1	2	1
吉川中央	14	3	17	3	3	3	3
第10グループ計	81	11	82	12	1	10	6
川口	88	18	88	17	0	5	4
鳩ヶ谷	14	0	14	0	0	10	0
川口東	23	3	22	2	-1	6	0
川口/鳩ヶ谷武南	22	3	26	3	4	2	4
川口モーニング	30	2	31	3	1	5	4
川口南	15	4	15	4	0	2	1
川口シティ鳩ヶ谷	6	2	6	2	0	2	0
第11グループ計	198	32	202	31	4	32	13
戸田	50	7	56	8	6	10	8
蕨	15	2	17	3	2	2	2
川口西	11	0	11	0	0	2	0
戸田西	18	1	21	1	3	2	5
川口北	28	1	31	4	3	5	4
川口中央	11	1	11	1	0	1	0
川口むさし野	19	4	19	4	0	2	0
第12グループ計	152	16	166	21	14	24	19
地区合計	2147	213	2197	230	50	276	138
参考:2025年当月地区合計	2200	205	2241	217	41	184	155

ローターアクトクラブ

クラブ名	7/1会員数	当月末	増減	クラブ名	7/1会員数	当月末	増減
大宮	1	1	0	大宮南	11	11	0
浦和北	12	15	3	蓮田	5	5	0
獨協大学	4	4	0	川口/鳩ヶ谷武南	11	18	7
大宮東	3	2	-1	戸田中央看護専門学校	123	123	0
文教大学	5	10	5	川口モーニング	7	6	-1
共栄大学	54	54	0	大宮西	6	18	12
川口	13	11	-2	ローターアクト計	254	278	23

ロータリークラブ数	66RC
2025年当月末会員数	2197人
ローターアクトクラブ数	13RAC
2025年当月末会員数	278人
RC+RAC会員数	2475人



国際ロータリー第2770地区事務所

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂 1-2-1-116 エイペックスタワー東館1階  
 TEL : 048-827-0022 FAX : 048-827-0011  
 E-mail : ri2770@ri2770.com URL : http://www.ri2770.com